

令和6年度 学校評価（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、個別教育計画を中心に据えた各部門課程における個々の児童生徒の教育活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個別教育計画(新書式)に基づいた授業づくり・授業改善により、個に応じた学習の充実を図る。</li> <li>②専門性を生かした教材の工夫を模索して、児童生徒の発達段階と課題に即した効果的な指導を実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①個別教育計画の手引きの改善を図り、目標と手立てを明確にした有効に活用できる個別教育計画を作成し計画的に指導を行う。</li> <li>②ICT機器の活用を全校で積極的に取り入れ、教育的ニーズに応じた教材の工夫をチームで模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①目標を精選して手立てを明確にした活用できる個別教育計画を作成し、効果的な指導につながられたか。</li> <li>②ICT機器の活用や教材の工夫により、個に応じた学習の充実と経験の拡大につながったか</li> </ul>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、すこやかにしなやかにたくましく生きる力の育成を組織的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒の多様な教育的ニーズに対し、アセスメントを有効に活用した指導の実践を行う。</li> <li>③専門職や各教員が持つスキルやノウハウを組織的に活かして、チームとして専門性の高い指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アセスメントを計画的に実施して、指導計画に反映させる流れを確立する。また有効に活用するための職員研修を行う。</li> <li>②効果的な人材活用ができるよう、実践の報告や校内データベースなどで情報共有の機会を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①アセスメントの結果を指導に有効に活用できる流れを確立できたか。また指導の目標設定や実践に活かされたか。</li> <li>②学校で組織的に人材活用が効果的に出来るよう取り組み、チームとして専門性を活かした指導が行えたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の可能性をきりひらく子を育てる」の視点から、小中高と一貫した進路指導・支援の充実と個別最適な進路学習を実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中高それぞれの段階に応じた、一貫性のある進路指導・支援を行う。</li> <li>②スポーツや文化活動等への取組をとおして、地域を学びの場とした活動の充実を図り、余暇活動の選択肢を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒それぞれの学びのニーズに応じた、自己選択を大切にした指導を行う。また進路に向けての保護者の意識を高めるよう学齢に応じた情報発信を行う。</li> <li>②スポーツや文化活動等に対する児童生徒の興味・関心が広がるように、新たな活動や発表の機会を検討・設定していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自己選択の機会を意図的に作り、自信や意欲に繋がる指導ができたか。また保護者へのタイムリーな情報発信が積極的に行えたか。</li> <li>②様々なスポーツへの関わりや文化活動等を経験するために児童生徒が積極的に参加する学びの機会を設定、充実を図ることができたか。</li> </ul>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒を地域のフロントへ」の視点から、従前のセンター的機能を礎として、地域の学校、教育行政、地域資源等の連携・協働により、児童生徒が地域の中で暮らす力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①近隣小、中学校・地域等とのこれまでの交流及び共同学習の実績を踏まえ、継続的な取組みを模索して推進する。</li> <li>②居住地学校への学びの場の移行・復学支援について、より適切なシステムとスケジューリングを確認して整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①今までの実践の評価を交流相手と共有して意義を確認し、次年度以降を見据えた連携と指導の計画を行う。</li> <li>②制度的に必要な情報を正確に把握して、より適切なシステムとスケジューリングを整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交流及び共同学習のよりよいあり方を交流相手と協働、連携して検討を行い、継続性のある活動への道筋を確立できたか。</li> <li>②移行・復学支援について、必要な情報を確認しながらよりよいシステムとスケジューリングを整えることができたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な教育環境の整備をさらに推進するとともに、緊急時、災害時の対策を整備する。</li> <li>・教育活動の充実化のために、より働きやすい職場環境の整備を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒のいのちと人権を守り、安全・安心の中で信頼関係を育む教育環境の整備を行う。</li> <li>②関係機関や地域と連携して防災体制について検討する。</li> <li>③組織的、機能的な学校運営に向けて、業務の厳選、指導体制の工夫に取り組む。また、従前にとらわれない方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもの視点に立つことを大切にしたい、人権研修、施設設備の点検、各訓練、事故不祥事防止の研修等を行う。</li> <li>②関係機関や地域と連携し、緊急時の体制、対応について検討する機会を持つ。</li> <li>③組織の構成に合ったフレキシブルな業務分担と業務の精選を行う。また、Teamsや校内ネットワークの機能を活用した業務の効率化を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもを守る視点を大切にしたい研修や各訓練を実施して、安全安心な学校生活につながられたか。</li> <li>②関係機関や地域と防災の緊急時の体制、対応について話し合う場を設定し、現状と課題を確認することができたか。</li> <li>③職員のフレキシブルな業務分担と業務の精選を行い、Teamsや校内ネットワークの活用により組織的な業務の効率化を図ることができたか。</li> </ul>